

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ほたるの里作成日: 平成 29 年 3 月 28 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議を定期的で開催しているが、参加者を増員し、新しい吹き込みホーム運営に活かせる取り組みを行うための、会議の内容の活性化を図っていく。	参加委員を有識者、知見者、複数の民生委員の参加を募り、会議の内容の活性化を図り、ホームの発展だけでなく参加委員にとっても知識を深め、充実した会議の場となるように取り組んでいく。	12ヶ月
2	10	運営に関する利用者、家族等意見の反映	家族と話す機会が多い方と、少ない方がいるので、話す機会の少ない家族が、ホームの職員と気楽に話し合える環境を整えていく。	利用者とホームと家族で支え合い、協力し合うことが利用者の幸せに繋がるとして捉え、面会の少ない家族とは本音で話し合う機会を設けてコミュニケーションをとり、面会や行事等ホームや利用者に関わる機会を増やしていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。